

【様式①】令和3年度 学校評価書(小・中・特別支援)

学校名 岐阜市立藍川中学校
校長名 折戸 靖仁

市の重点項目	学校の重点項目	自己評価	達成状況	学校関係者評価委員会から	改善の方向
全職員や地域コミュニティとの協働による積極的な指導体制を確立し、「チームとしての学校」を実現する	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営協議会との連携を図りながら、地域ぐるみで子どもを育てる教育活動の充実を図る。 ・支援推進委員会を中心とした教育活動を継続する。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の教育力を活用した教育活動を計画し準備を進めたが、実施直前に新型コロナウイルスの感染拡大によって中止せざるを得ない状況になったことは残念だった。一方で、1年生の地域学習や支援推進委員会による検定事業等、地域の協力を得て実施することができた教育活動については、成果を得ることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期委員会の他にも学校のイベントなどへの呼びかけもあり、学校生活の理解を深める機会をつくっています。 ・コロナ禍のため、できる範囲で地域との協働を進めていただけたことに感謝いたします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が参加できる地域の活動を紹介したり、地域の中で活躍する生徒の姿を認め、広げるにより、地域の活動に積極的に参加できる生徒を増やす。 ・学校運営協議会や支援推進委員会、PTAと連携し、地域や家庭の教育力を生かした活動を進める。
学習指導要領の趣旨を十分に踏まえた社会に開かれた教育課程を編成・実施・評価し、教育効果の最大化を図る	<ul style="list-style-type: none"> ・「聴き合い」から始まる協同学習を基盤に、生徒自らが学びに向かう態度を育てる。 ・指導と評価の一体化に向け、3観点に対応する評価方法及び評価規準を明確にする。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が互いに聴き合い、学び合う姿を目指して実践に取り組み、授業研究会などを通して学び合うことができた。 ・学習指導要領を踏まえた評価改善に取り組むことができたが、課題も残っているため継続して取り組んでいく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の中で先生の投げかけに対して、主体的に考えている生徒の姿が見られました。グループ内に止まらず、生徒と生徒によるさらなる深め合いが充実してくるとよいと思います。 ・生徒同士のコミュニケーションがとれています。教師が生徒一人ひとりを見る機会が多くてよいと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度の実践を踏まえて成果と課題を明らかにしつつ、深まりのある聴き合い、学び合いができるように授業改善に取り組む。 ・全校及び各教科において、身に付けさせたい力を確実に育てるために、より一層の指導と評価の一体化に取り組む。
幼保小連携や小中一貫の考えのもと、ソーシャルキャピタルを活用した学校づくりを推進する	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策監を中心に小中で取組を交流し、連携を図りながらいじめの未然防止に取り組む。 ・地域・社会の人材を活用した教育活動を推進する。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策監を中心に、組織的にいじめの早期発見、早期対応に取り組むことができた。また、予防的教育相談を進めたことが生徒の安心感につながった。 ・芸術鑑賞会やひびきあい講演会等、地域・社会の人材を活用した教育活動を進め、本物に触れる機会をもつことで、自己の生き方について考える機会をつくることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめは起きていますが、学校内の意識は継続的ないじめ防止につながっていると思います。 ・活動は制限されていますが、例年は積極的に取り組んでいます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育担当者会において3校の「ふるさと教育」に関わる学習内容を確認し、9か年でつながりのある「ふるさと教育」を進める。 ・小中のいじめ対策監を中心に連携を図り、いじめ防止に取り組む。
教育環境と学校財務環境を整備・管理し、有効に運用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器の整備と適切な管理を行い、ICTを活用した教育活動の充実を図る。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・オンライン授業や会議、アンケートの実施等、タブレット端末をはじめとしたICT機器の活用を進めることができた。また、それらを行うために必要な機器を整備し、適切に管理することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・SNSやメールなどの活用にはまだ課題があるようで、生徒の倫理教育が必要だと感じます。しかし、学校でのメディアリテラシーの教育は進んでいるように感じます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTを活用した授業実践の交流を図り、有効な活用方法を校内で共有する。 ・授業や家庭学習でのタブレット端末の活用方法を生徒に指導するとともに、情報モラル教育を家庭と連携を図って取り組む。
災害や事故等、多種多様な非常事態に対する安全性の確保をする	<ul style="list-style-type: none"> ・命を守る訓練の内容や防災に関する学習内容を見直し、自らの身の安全を自らが守ることができる生徒を育てる。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・校長の指導の下、新型コロナウイルス感染防止対策に取り組むことができた。 ・家庭内DIGや「マイ・タイムライン」の作成、などを取り入れるなど、防災教育や命を守る訓練の内容を見直すことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・6月5日に岩小学校との合同の引き渡し訓練を実施されていますが、芥見小学校との合同訓練は実施されないのでしょうか。 ・土砂災害の可能性がある立地なので、訓練に現実味があります。 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒が主体的に危機回避行動をとることができる防災教育や交通安全教育を進めるために、教育活動や指導方法などの一層の見直しを進める。 ・地域の防災訓練により多くの生徒が参加し、災害や防災について理解を深め、命を守る行動ができる力を高める。